# 8.8 水利用

### 8.8.1 調査事項

調査事項は、表 8.8-1 に示すとおりである。

表8.8-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・水の効率的利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・雨水利用設備の状況
ミティゲーション の実施状況	<ul><li>・グランドスタンド棟の屋根に降る雨水を集水し、雨水利用のための貯留槽へ 貯留後、トイレ洗浄水に使用する計画とする。</li><li>・節水型トイレ、手洗いセンサーを設置する。</li><li>・利用者に対する節水を周知するなど、より一層の水使用量の削減に努める。</li></ul>

# 8.8.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

### 8.8.3 調査手法

調査手法は、表 8.8-2 に示すとおりである。

表8.8-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

细术专币		
調査事項		水の効率的利用への取組・貢献の程度
調査時点		施設竣工後とした。
調査期間	予測した事項	施設竣工後2019年6月~2022年3月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後2019年6月~2022年3月とした。
	ミティゲーション の実施状況	施設竣工後2019年6月~2022年3月とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーション の実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	施設へのヒアリングによる方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び施設へのヒアリングによる方法とした。
	ミティゲーション の実施状況	現地調査(写真撮影等)及び施設へのヒアリングによる方法とした。

#### 8.8.4 調査結果

- (1) 調査結果の内容
  - 1) 予測した事項及び予測条件の状況
    - ア. 水の効率的利用への取組・貢献の程度

本事業で整備した海の森水上競技場は、2019年5月に竣工し、2019年6月~2022年3月までの34か月で86回のイベントなどの施設利用があったものの、利用頻度は平均2.5回/月であった。なお、施設の利用の内訳は、2019年6月の完成披露式典、2021年5月に5日間のアジア・オセアニア大陸予選(ボート)が無観客で開催された他、競技コースの開放、ボートやカヌー体験教室等が80回開催され、基本的に短時間の利用であり、グランドスタンド棟の利用はなかった。また、そのうちの42回は10人以下のボート体験会及び練習などであった。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、いずれも短い日数かつ完成披露式典以外は無観客での使用であった。

あわせて東京 2020 大会開催後は、仮設の撤去・修復工事が行われ、今後は、艇庫棟等の増築工事や緑化等の外構工事が行われる。施設の通常利用は 2022 年4月末以降の予定としていることから、フォローアップ計画書で決めた「施設の供用が開始され、事業活動が通常の状態に達した時点」には至っていない。

以上のとおり、事業活動が通常の状態に達した時点における水利用の実績値はまだ得られていないが、水の効率的利用の取組として、グランドスタンド棟の雨水をトイレ洗浄水に利用するとともに、グランドスタンド棟、艇庫棟及びフィニッシュタワー等には節水型トイレや手洗いセンサー等の設置を行っており、一般的な節水対策を実施している。

#### 2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.8-3 に示すとおりである。なお、水利用に関する問合せはなかった。

# 表8.8-3 ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション ・グランドスタンド棟の屋根に降る雨水を集水し、雨水利用のための貯留槽へ貯留後、トイレ洗浄水に使用する計画とする。

実施状況

グランドスタンド棟の屋根に降る雨水を集水し、雨水利用のための貯留槽へ貯留後、トイレ洗浄水に使用している。



雨水貯留槽 (蓋等)

ミティゲーション ・節水型トイレ、手洗いセンサーを設置する。

実施状況

節水型トイレ、手洗いセンサーを設置した。



節水型トイレ



手洗いセンサー

ミティゲーション ・利用者に対する節水を周知するなど、より一層の水使用量の削減に努める。 実施状況

利用者に対する節水を周知するなど、より一層の水使用量の削減に努めている。



節水状況の掲示